

島根高P連だより

第56号

2019.7.12

発行・編集 島根県高等学校PTA連合会事務局 松江市黒田町538 TEL/0852-22-8602 FAX/0852-22-8735
E-mail: shimakp@orange.ocn.ne.jp URL: http://www.shimakp.sakura.ne.jp/



ダイコクアワー(先輩たちと交流し、高校卒業後の人生について考える)

大田高校



地域探究学習(1年)



三瓶サイエンスセミナー(1年理数科)



遠足(大森町探索)



松商だんだんフェスタ

松江商業高校



松商だんだんフェスタ レストラン



英語セミナー



清掃ボランティア



ロボット競技県大会

出雲工業高校



鑄造実習風景



ものづくりコンテスト(電気工事)



いずも産業未来博出店の様子

目次

- 子どもたちの未来を考える「ご縁」
島根県高P連会長 大屋 光 宏 2
- アジアパシフィックスプリントカップ2019出場 会長激励費贈呈
島根中央高校 一年 小 鐘 亮 太 さん 2
- 2019年度島根県高等学校PTA連合会総会開催 3
- 全国大会開催まであと一年 4
- PTA活動紹介 飯南高校PTA 5
隠岐水産高校PTA 5
- 令和元年度人権・同和教育「PTA活動」育成事業 6

子どもたちの未来を考える「ご縁」



島根県高等学校PTA連合会会長
(島根県立天上高等学校PTA会長)

大屋 光宏

本年度、島根県高P連の会長を務めます、大屋光宏です。みなさまには、日ごろのPTA活動への参加と協力に対して心よりお礼申し上げます。

さて、私たち保護者や先生の大きな役割は、子どもたちに地域や社会の未来を示し、その理由付けをすることだと思えます。

理由ある未来があつてこそ、子どもたちは学ぶ目的を見つづけることができるのではないのでしょうか。そして学びを進める中で、学ぶことが役に立つことが実感できる機会が増え、社会の未来と自分の未来を重ね合わせることができることによつて自尊感情が育まれていくのだと思えます。

島根県が取り組む「教育の魅力化」は、学ぶ目的を見つづける、学ぶことが役に立つ実感と自尊感情の育成に大きく貢献してきたと感じています。しかし、大きく社会が変化する中で、一番大事な理由ある未来を示すことが難しくなってきました。

年功序列・終身雇用の時代から転職を繰り返すキャリアアップする時代にかわり、長時間働くこと

が美徳ではなく、勤務時間内に仕事を終え自分の時間をいかに有意義に過ごせるかを求められています。

社会がどのように変わっていくのか。そのなかでこれからの社会を担う子どもたちに求められる能力はなにか。そしてなぜ大学入試などの試験制度が変わるのか。なぜ島根県は教育の魅力化に取り組むのか。

学ばなければ子どもたちに未来を示すことはできません。現在、本会の大きな事業は来年度の全国高P連大会島根大会の開催です。子どもたちの未来について語り、理由ある未来を示すためのより良い学びの場となる大会を企画したいと考えています。

より良い大会となるよう、多くの会員のみなさんの知恵とお力をお貸しくださいようお願い申し上げます。

本年もPTA活動が、子どもたちの学力、体力そして心の健やかな成長を支え、参加するみなさんの学びの場となるよう努めていきます。引き続き本会の活動にご理解ご協力をお願いします。

アジアシフィックスプリントカップ 2019出場 会長激励費贈呈

島根中央高校カヌー部 小鏝亮太さん

県高P連では、当連合会に所属する高等学校の生徒やその生徒を指導する学校の指導者がスポーツ競技会やコンテスト・審査会等の世界大会に日本を代表して出場する場合には、その栄誉を称え、健闘を期待して会長激励費を贈呈することになっています。今年度は、カヌー競技でニュージーランドのケンブリッジ・カラビ口湖で開催されたアジアシフィックスプリントカップ2019に、日本代表として出場した島根中央高校カヌー部一年小鏝亮太さんに五月二十八日(火) 島根中央高校校長室で佐藤龍美PTA会長が激励費を贈呈した。出場種目と結果は次のとおり。



激励費贈呈式

- U16 カヤックペア二〇〇m 一位 37秒07
- U16 カヤックシングル二〇〇m 三位 41秒39
- U16 カヤックミックスリレー二〇〇m 三位
- U16 ミックスカヤックフォア二〇〇m 二位

カヤックペア二〇〇mの優勝を含む出場種目すべてで上位入賞で四個のメダルを獲得した。オリンピックに向けて小鏝選手の今後の活躍に期待したい。小鏝選手には、後述のようにニュージーランド遠征時の手記を書いてもらった。競技会出場だけでなく、若い時代に世界の街を知り、新たな夢を描くことは大切なことである。県高P連としては、今後もそんな生徒を応援したい。



アジアシフィックスプリントカップ 2019に出場して

島根県立島根中央高等学校 一年 小鏝亮太

五月十一日から十三日までの三日間、ニュージーランドのケンブリッジで開催されたアジアシフィックスプリント大会にU16日本代表として出場しました。昨年に続き二回目の出場ということで、大きな不安はありませんでした。昨年、K1・二〇〇mで銀メダルという成績だったので、今回は金メダル獲得を目指して大会に臨みました。現地入りをして、まずは艇の調整に入りましたが、なかなか自分に合った艇が見つからず苦労しました。時間のなか、なんとか足の位置や乗る位置の調整をして大会に臨むことが出来ました。また、食事の面では日本と大きく違い、文化の違いも感じました。言葉の違いは苦労しましたが、外国人選手の明るさに助けられ、なんとかコミュニケーションをとることが出来ました。

レースでは、まず、K2・二〇〇mに出場しました。スタートから、上手くスピードに乗ることができ、減速することなくゴールし、金メダルを獲得する事が出来ました。ニュージーランドやオーストラリアの強豪を抑えての金メダルはとてうれしかったです。そして、私が一番楽しみにしていたのがK1・二〇〇mでした。予選を四位で通過して決勝に臨みました。艇の調整に苦労し、完璧な状態とは言えませんでした。順位を一つ上げて銅メダルを獲得する事が出来ました。一位と0.38秒という差には、時間がたつにつれ悔しさが残りました。

私の夢は、パリオリンピックに出場することです。今回、日本代表として二度目の海外遠征を経験し、改めて外国選手の体格・パワーに圧倒されました。しかし、日本人選手にはテクニクの巧みがあることも確信しました。この経験を活かし、フィジカルを鍛え、さらにテクニクに磨きをかけ、まずは国内大会を全て制覇し、来年はジュニア世界大会に挑戦し、夢に向かって突き進んでいきたいと思えます。

今回は、皆様のご支援とご協力のお陰でこの様な貴重な経験をさせていただきました。心から感謝しています。ありがとうございました。

二〇一九年度島根県高等学校PTA連合会総会開催

二〇一九年度定期総会は、六月八日（土）松江市のサンラポーむらくもで、代議員六十七名が出席して開催された。

大屋会長は、開会に当たり県高P連の様々な活動にご協力をいただいたこと、感謝の意を表した。その後、少子化や高齢化が進み人口減が進む島根県において「教育の魅力化」が進められているが、高校生のふるさとへの「帰属意識」を育てることが大切ではないかと訴えた。また、終身雇用制の崩壊など社会の大きな変化の中で未来を生きる高校生に求められている力は何か、一緒に考えながら子どもたちを育てよう述べた。そ

して、来年に迫った第七〇回全国高P連大会島根大会の成功を期して会員の協力を呼びかけた。

また、来賓の島根県教育委員会新田教育長からは日頃の学校運営に対する保護者の理解協力に対し謝意が伝えられた。そして子どもを育成は学校・家庭・地域社会との連携・協力なしにはなしえず、学校が社会に対して「開かれた学校」となり、家庭や地域社会に対して積極的に働きかけを行い、家庭や地域社会とともに子どもたちを育てていくという視点が大切であり、学校と保護者が協力して子どもたちを育成しようという呼びかけが

あった。

その後、議事に入り、大屋会長を議長に選び、第一〜三号議案を承認後、第四号議案で左表の通り新役員が決定した。そして新旧役員からそれぞれ挨拶があった。続いて、大屋会長を議長に再選し、第五号議案以下、提案された議案はすべて承認された。

- 次に提出議案を紹介する。
- 一、平成三十年度会務・事業報告
 - 二、平成三十年度会計決算及び監査報告
 - 三、県高P連関係各表彰の被表彰者の決定（報告）並びに全高P連等表彰等の推薦
 - 四、二〇一九年度役員（案）
 - 五、二〇一九年度活動方針（案）
 - 六、二〇一九年度主要行事予定（案）

- 七、二〇一九年度予算（案）
- 八、二〇一九年度島根県高P連研修会の実施
- 九、第70回全国高等学校PTA連合会大会島根大会実行委員会組織について（報告）
- 十、報告事項
- 十一、その他

第三号議案については、表彰規定によって、総会直後の表彰式で大屋会長から次の方々に表彰状が贈呈され、永年のご苦労とご功績に対して謝意を表した。

感謝状贈呈（敬称略）

- 野々村卓也（松江農林高校）
- 塩毛 七栄（松江東高校）
- 古居 晃（矢上高校）

表彰状贈呈（敬称略）

- 原田 憲一（大東高校）
- 長岡 篤（出雲工業高校）
- 福代 秀洋（大社高校）
- 田中耕太郎（浜田商業高校）
- 鳥井 登（隠岐高校）

また、全国高P連会長表彰に次の団体と個人を推薦することとした。

令和元年度全国高P連会長表彰

- 団体表彰候補
情報科学高校PTA
- 個人表彰候補（敬称略）
塩毛 七栄（松江東高校）



総会

2019年度島根県高等学校PTA連合会役員表

役員	選出地区等	氏名	所属高校	所属校校長
会長	西部	大屋 光宏	矢上	志波 英樹
副会長	東部	福田 龍太	松江	常松 徹
	中部	塩野 稔昭	出雲工業	宇津 誠
	女性代表	豊田 さゆり	浜田水産	中村 公一
	校長協会	志波 英樹	矢上	
評議員	松江	山根 収	松江南	津森 敬次
		名目良 明利	松江商業	岡崎 豊年
	雲南	梅 博	大東	中村 伸之
	出雲	森 廣雅	出雲商業	日向 三島
	大田	佐藤 龍美	島根中央	曾田 裕正
	浜田	上ヶ迫 晃	浜田商業	陽 岡
	益田	佐々木 和美	益田翔	来 田
監事	東部	増田 博幸	安 横	津 和野
	中部	名和 亨		
事務局		事務局 長 勝部 昌幸		
		事務局 次長 恩田 佳雄		
		事務局 員 加藤 淳子		



表彰式

全国大会開催まであと二年

第七十回全国高等学校PTA連合会大会島根大会 第一回実行委員会開催

令和二年八月に開催される第七十回全国高等学校PTA連合会大会島根大会の第一回実行委員会が六月八日(土) 松江市のサンプラザむらぐもで、定期総会の後、主催者代表全国高P連副会長長泉満氏、実行委員会代表島根県教育委員会社会教育課長畑山経弘氏、実行委員会相談役三名の列席のもと、委員七十一名が出席して開催された。

大屋実行委員会会長、畑山経弘社会教育課長と泉満全国高P連副会長の挨拶の後、大屋会長から実行委員会委員の委嘱が行われた。

- その後、議事に入り、大屋会長を議長に選び、島根大会への協賛金募集、大会への各校動員数、各会場部会・部会別の運営等について協議し、いずれも承認された。また、今年の八月の全国大会京都大会で放映する島根大会PRビデオの発表が委託業者の山陰中央テレビジョン放送株式会社から行われた。
- 次に提出議案を紹介する。
- 一、第七十回全国高等学校PTA連合会大会島根大会準備経過報告
- 二、基本構想
- 三、島根大会の概要
- 四、大会までのスケジュール
- 五、島根県紹介ビデオ発表
- 六、全国高P連大会島根大会協賛金(大会要項広告)募集について

準備状況報告

- 七、全国高P連大会島根大会各高校動員数(島根大会参加のための予算化)
- 八、各会場部会(部会)別の大会準備に関する運営
- 九、島根大会に向けた諸準備
- 十、本年度の準備スケジュール
- 十一、全国大会京都大会視察
- 十二、全国大会京都大会島根県紹介ブース
- 十三、その他

全国高P連大会島根大会の開催まであと一年余りとなりました。開催施設、宿泊施設、会場アクセス等、様々な課題が開催準備当初からありました。



島根大会概要を説明する大屋光宏会長(全国高P連総会)

ハードな面の課題克服は無理にしても、全国から参加されるPTA会員の皆様を温かく迎え入れることができるよう、島根県高P連挙げて準備を進めて行ければと思っております。そして、その過程で県内各高校PTAが島根県高P連のもと一つになり、大会後の高P連活動に一層の弾みがつくことを期待いたします。六月八日(土)に開催されました実行委員会では、各高校の担当も決まりました。これまでの準備状況と合わせてを紹介いたします。

大会テーマ

「ご縁(えん)づくり」
「いいご縁をつなごう世界へ、未来の子どもたちへ」

大会期日と会場

- 八月十九日(水) 午後：諸会議
分科会別打合せ会議 各分科会会場
全国事務局長会議・大会運営会議、レセプション ホテル一畑
- 八月二十日(木) 午後：研究協議(分科会八会場)
第一分科会 松江市総合体育館
第二分科会 島根県民会館
第三分科会 くまびきメッセ
第四分科会 安来市総合文化ホール
第五分科会 三刀屋文化体育館
第六分科会 出雲市市民会館

会場ごとの担当校

- 松江市総合体育館(副会場) 島根県民会館(副会場)
- くまびきメッセ会場部会全体会式典係
松江北高校、遼摩高校
- くまびきメッセ会場部会歓迎係
松江南高校、隠岐島前高校
- 松江市総合体育館会場部会全体会歓迎係
松江農林高校、益田高校、隠岐水産高校
- 島根県民会館会場部会全体会歓迎係
松江工業高校、出雲農林高校、隠岐高校

分科会会場部会担当

- 第一分科会 松江商業高校、出雲工業高校、益田翔陽高校
- 第二分科会 松江市立女子高校、大社高校、吉賀高校

大会ポスター

原図 出雲高校 新野美琴(現二年生)



大会シンボルマーク

原図 出雲高校 若槻穂波(現三年生)



資料広報担当

矢上高校

- 第三分科会 松江東高校、平田高校、浜田商業高校
- 第四分科会 情報科学高校、安来高校、江津高校、江津工業高校、浜田高校、浜田水産高校
- 第五分科会 三刀屋高校、大東高校、横田高校、飯南高校、三刀屋高校掛分枝、大田高校
- 第六分科会 出雲高校、出雲商業高校、島根中央高校、津和野高校

PTA活動紹介

飯南高校PTA活動

島根県立飯南高等学校

PTA会長 鹿田 明浩



校内ロードレースでの豚汁サービス



鵬雲祭(学園祭)でのPTA出店

昨年、飯南高校は創立七十周年を迎えました。十月には多数の学校関係者をお招きして記念式典を開催、アトラクションでは「飯南神楽団」に所属する生徒が神楽を舞い式典を盛り上げてくれました。この七十周年を迎えることができたのも、飯南町をはじめ、地域の皆様や関係機関の皆様の大なる支援の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、飯南高校PTAは「企画」「研修」「広報」の委員会で構成されます。企画委員会の主な活動は毎年八月末から三日間かけて行われる「鵬雲祭」への出店がメインとなります。この鵬雲祭には、生徒の保護者や家族はもちろんです

が、地域の皆様にもたくさんご来場いただいています。

この鵬雲祭には飯南高校の後援組織でもある「鵬雲会」の皆様にも出店いただき、PTAと協働して鵬雲祭を盛り上げてくださいます。PTAとしてはカレーライスやアイススクリームを販売、鵬雲会の皆様には焼きそばの販売をお願いしています。いつも好評で毎年完売しています。また、学校周辺の奉仕作業や校内ロードレースの炊出し(豚汁)を提供しています。

研修委員会は、毎年十月に「学校見学会」を計画しています。二年生とその保護者を中心に、島根県内の大学や短大、専門学校を視察します。進路を決めるうえで参考になる活動のひとつです。

広報委員会では、毎年二月にPTA広報「WISH」を発行します。このWISHを通じて、学校の様子など細やかな情報を保護者などへお知らせしています。

飯南高校の全校生徒一七四名でPTA会員も多くはありますが、生徒が充実した学校生活を送れるようPTAが一丸となって活動に取り組んでいます。



環境整備活動

隠岐水産高校PTA活動

島根県立隠岐水産高等学校

PTA会長 武田 浩志

隠岐水産高校は、島根半島から約八十kmの日本海に浮かぶ隠岐の島町の西郷湾に位置しています。校舎のすぐ隣が海であるため、すぐに海に出て実習ができるという、日本でも数少ない立地条件に恵まれた水産高校です。このような中で生徒たちは、毎日、海に慣れ親しみ、各種の実習を繰り返しています。また、本校は、平成二十九年度に創立百周年を迎え、新たな一歩を踏み出しました。島内はもちろんのこと、県外からもたくさんの方が入学しており、全国各地にPTA会員がいます。そんな隠岐水産高校でのPTA活動の様子を紹介します。

PTA活動の基本方針

- 一、PTA活動の伝統行事を継承し、活発で発展的な事業展開を行う。
- 一、学校・家庭・地域の連携を強化し、学校活動や教育環境の支援を行う。
- 一、会員への活発な情報発信で意識を高め、事業への積極的な参加を図る。
- 一、PTA活動をおとして、隠岐水産高校の素晴らしさを生徒並びに社会に伝える。

この四つの柱のもと、PTA活動を展開しています。特に、学校行事への積極的な参加は、私たちが実際に学校を肌で感じられる活動として、一番重要なものと考えています。

夏休み明けにすぐ開催される体育祭。生徒たちは厳しい残暑の中元気にグラウンドを駆け回っています。私たちは、その中で昼休みのか



マラソン大会豚汁



体育祭でのかき氷



カッター大会ママさんチーム

き水サービスを行っています。生徒たちはもちろん、先生方や、応援に来校されている地域の方々と一緒に話をしながらの活動で、楽しいだけでなく、子どもたちの熱中症予防対策として一役買っていると自負しております。

例年、体育祭の翌週には、「全隠岐カッターレース大会」が隠岐水産高校を会場に行われます。カッターレースとは9mのカッターと呼ばれるボートを十四人で心一つにして漕ぐ競技です。生徒はもちろんのこと隠岐の島町の若者や、かつて若かったOBたち、そして私たちPTAも、出場選手として参加します。この時には県外からの保護者さんも多く駆けつけられ、地域全体が熱くなる大会です。

オールが重くて腕はパンパンになります。が、せめて子どもたちには、最後まで諦めないところを見せたいと、父親は奮闘し、お母さん方も負けじと完全に真剣勝負です。大きなかけ声を出し、日頃運動不足の身体がバラバラになるような感覚を覚えながら一生懸命漕ぎ続けます。身体は疲れますが、学校と子どもたちと一体になることができる大切な行事です。

この他にも校内マラソン大会での豚汁サービスなど、生徒とのふれあいの機会があれば学校に足を運ぶPTA活動を実践しています。

これからも、このような様々な活動をおして、学校、地域と一体になったPTA活動を行っていきたいと思います。

令和元年度人権・同和教育
「PTA活動」育成事業「人権・同和教育研修会」

令和元年五月十三日(月)に島根県庁六階において令和元年度人権・同和教育「PTA活動」育成事業 人権・同和教育研修会が開催された。この事業は、島根県教育委員会が、県内の幼稚園・こども園、小・中学校、高校、特別支援学校のPTAから単位PTAをモデル指定し、PTA会員一人一人が様々な人権問題に対する正しい理解や認識を深めるとともに、学校や家庭における人権・同和教育のより効果的な推進を図る目的で毎年行われている。当連合会からは、平成三十年度・令和元年度の育成事業指定PTAである松江商業高校PTA、吉賀高校PTAの他、参加希望のあった単位PTAから十五名が参加した。中間発表として松江商業高校PTAの名目良明利会長から講演会や清掃ボランティア、PTA広報誌、松商だんだんフェスタでの人権に関する取組みの紹介があった。また、吉賀高校PTAの村上幸恵前会長、永田和代副会長、泉真由美副会長からは、ハンセン病問題を通じた人権・同和教育の取組みとして講演会や大島青松園への訪問の報告があった。それぞれの学校の特徴や普段のPTA活動を活かしながら、人権意識に関わるアンケート調査、人権・同和教育研修会、フィールド・ワーク、ワークショップ、広報の発行など、様々な活動を取り入れて組織的に人権・同和教育が行われていることがよくわかる発表であった。

午後からは、教育庁人権同和教育課の門脇健一社会教育主事による「PTAで人権教育をどう進めるか」「しまねがめざす人権教育」をふまえて「」をテーマに研修会があった。子どもたちの健やかな成長を図り、心豊かで自他の人権を尊重できる子どもたちの育成を図るためには、学校教育、家庭教育、社会教育が連携して子どもたちの人権意識を育むことの大切さを改めて理解できた研修会となった。毎年、この時期に実施されるこの研修会にできるだけ多くの会員の皆様のご参加をお願いしたい。



吉賀高校PTAの発表

しまね学生登録

「しまね学生登録」とは、高校卒業後、進学される方を対象に、就活の情報やイベントの案内、ふるさと島根の情報などを学年に応じてタイムリーにお届けします。登録については、高校卒業前に学校を通じてご案内します。是非登録をお願いします。

ふるさと島根を思い、島根を支える人材が増えることを心から願っています。お子様将来、島根で活躍できるように、私たちジョブカフェしまねが全力でサポートします！



しまね 仕事体験

島根県内の高校生を対象に、自宅等から通勤困難等の理由で参加できない遠距離地域でのインターンシップについて、交通費・宿泊費を助成します。
※学校を通じてお申し込みください。

【お問合せ】島根県 商工労働部 雇用政策課
TEL: 0852-22-5365

ジョブカフェしまね

若者と県内企業を繋ぐ
ジョブカフェしまねサイト
1260企業1172求人掲載中！
※2019年6月5日時点

【お問合せ】《松江》0120-67-4510
《出雲》0120-45-4970
島根県若年 ふるさと島根定任財団
Job Cafe
ジョブカフェしまね

事務局だより

昨年の冬は暖冬で、奥出雲町の我が家でも例年なら1m降る雪がほとんど降らず、除雪車も例年ならば十五回は使いますが、昨冬はわずか二回でした。雪が少ないと田圃の水が心配です。例年だと五月の終わりまでには田圃も終わりますが、近所には水がたまるらず、六月上旬にやっと終わった田圃がありました。また、慢性的に水不足状態の田圃もあります。

今年の梅雨入りは例年より大幅に遅れ、六月二十六日に中国地方の梅雨入りが発表されました。統計がある一九五一年以降で最も遅い記録だそうです。梅雨入りと同時に心配されるのが豪雨災害です。二十世紀に入り、豪雨災害の頻度が増しており、このところ毎年のように甚大な豪雨災害が起っています。昨年は岡山県、広島県、愛媛県を中心に甚大な被害が発生した西日本豪雨が発生しました。二〇一七年には福岡県、大分県を中心に大規模な土砂災害が発生した九州北部豪雨、二〇一五年には鬼怒川の堤防決壊も起こった関東・東北豪雨、二〇一四年には「線状降水帯」という言葉が使われ、広島市を中心に土石流や崖崩れが多発した平成二六年八月豪雨と立て続けに起っています。

降雪量と梅雨の雨量の因果関係はないようですが、昨冬の少ない降雪量の反動で豪雨とならなければよいが、今年こそは豪雨災害が起らないといいたく願っています。事務局では、高P連全国大会島根大会まで「あと〇日」というめぐりカレンダーを掛けています。作ったときには七百九十日あったカレンダーも七月十六日で「あと四〇〇日」となりました。会員の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。